



ALSOX

証券コード 2331

総合警備保障株式会社

第59期 株主通信

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日



強靱な総合安全安心サービス業へ

トップメッセージ

拡大する社会の安全・安心ニーズに 的確に 대응してまいります

このたびの令和6年能登半島地震により
お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、
被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

代表取締役
グループCEO

村井 豪

代表取締役
グループCOO

栢木 伊久二

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第59期（2023年4月1日～2024年3月31日）の概況についてご報告申し上げます。

事業関係について

当連結会計年度における我が国経済は、実質賃金の下落や1～3月期における一部製造業の生産活動の停滞など景気下押し要因があったものの、設備投資の持ち直しやコロナ禍からの経済活動正常化の動き、インバウンド需要の回復などを背景に緩やかな景気回復が継続しました。

警備分野においては、サイバー空間の脅威、社会的弱者の安全・安心への懸念のほか、街中での凶悪な犯罪や事故の増加、今年1月に発生した令和6年能登半島地震などの自然災害に伴う治安情勢の変化、インフラ老朽化などを背景に、警備業界に対する社会の期待は高まっており、当社グループに対しては、警備を含むトータルでの安全・安心に関するサービス提供が求められております。加えて、2022年の刑法犯認知件数が2002年以来初めて対前年比増加に転じ、さらに2023年においても増加傾向が強まって

いるほか、「闇バイト」による強盗や太陽光発電施設における銅線の窃盗などの発生を受けて国内の体感治安が悪化しており、安全・安心を守る当社グループの役割は増大していると言えます。

決算概要について

このような情勢の中、当社グループは、持続可能な社会への貢献を目指し、社会の安全・安心に関するサービス（セキュリティ事業、総合管理・防災事業、介護等生活支援事業）を行う事業者として、適切にサービス提供を継続してまいりました。中期経営計画「Grand Design 2025」に掲げておりますとおり、「社会の多様な安全・安心ニーズに対応する強靱な総合安全安心サービス業」を目指して、リスクが多様化する中で拡大するお客様と社会の安全・安心ニーズに応えるべく、警備・設備・介護等の多様なサービス機能を組み合わせた新たなサービス提供に取り組んでおります。

以上のような取り組みを続ける中、当連結会計年度における当社グループの連結業績は、前期と比較して改善し、

売上高は5,214億円（前年同期比5.9%増）、営業利益は390億円（前年同期比5.6%増）、経常利益は421億円（前年同期比7.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は273億円（前年同期比14.1%増）となりました。

今後の見通し

我が国経済は、春闘の賃上げや所得税・個人住民税における定額減税など雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待されますが、他方で中東やウクライナ情勢の緊迫化や中国経済の先行き懸念などの海外要因に加え、円安等による国内物価上昇の加速とそれに伴う実質賃金上昇の遅れなどの景気下押しリスクに注意が必要です。

このような事業環境の中で当社グループは、社会の安全・安心に関するサービスを行う事業者として適切にサービスを提供してまいります。警備・設備・介護等の多様なサービス機能を組み合わせた新たなサービス提供、デジタル化とデータ活用、社員が活躍できる環境の構築、サステナビリティへの取り組みの強化を行ってまいります。

これらの実施により、当社グループの2025年3月期の連結業績予想は、売上高5,500億円（前年同期比5.5%増）、営業利益403億円（前年同期比3.1%増）、経常利益431億円（前年同期比2.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利

益276億円（前年同期比1.0%増）を見込んでおります。

株主の皆様には、何卒今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

株主還元方針

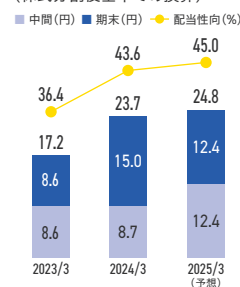
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策として位置付け、内部留保の充実を図りながら、業績に裏付けられた成果の分配を行うことを基本方針としております。配当性向はこれまで30%を目安としておりましたが、株主の皆様への利益還元の更なる充実のため、今後は40～50%を目安に安定配当を目指してまいります。

配当金を連続増配

期末配当は、配当性向の見直しと当期の業績等を総合的に勘案し、「1株当たり15.0円」とし、年間配当金は前期から増額の「1株当たり23.7円」とさせていただきます。

※当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。2023年3月期は株式分割後基準での換算となります。
※2025年3月期の配当性向の算定に際しては、下記の自己株式取得の影響を加味しておりません。

1株当たり配当金の推移
(株式分割後基準での換算)



自己株式取得

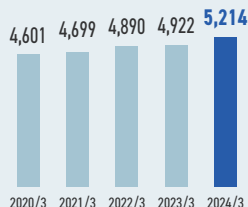
経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行及び株主還元策の一環のため、2024年5月15日より10月末日まで、総額150億円、株式総数1,770万株を上限とし、自己株式取得を進めてまいります。

財務ハイライト

売上高

5,214億円

(億円)



営業利益

390億円

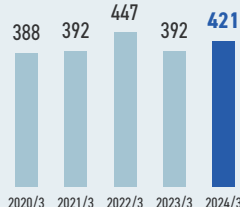
(億円)



経常利益

421億円

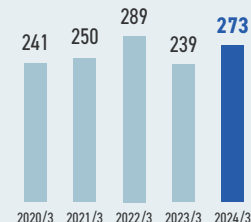
(億円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

273億円

(億円)



セグメント別状況

売上
構成比

セキュリティ事業

機械警備業務



売上高

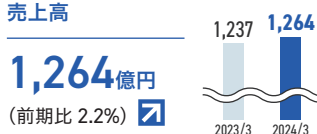


- 法人向けサービス「ALSOK-G7 (ジーセブン)」の販売を推進
- IT機器や設備等の障害に対応する「ALSOK ITレスキュー」「ALSOK設備レスキュー」を提供開始
- 個人向けサービスでは新商品「HOME ALSOK Connect」を提供開始
- 高齢者向け見守りサービス「HOME ALSOK みまもりサポート」の販売を推進

常駐警備業務



売上高



- 広島的首脳会合などG7関連の各種大臣会合の警備やインバウンド需要回復で再開した空港施設の警備に対応
- 生産拠点の国内回帰やアフターコロナにおける国内イベントの再開本格化に伴う警備にも対応

警備輸送業務



売上高



- ATM総合管理サービスや入金機オンラインシステムなどの販売を拡大
- 新紙幣発行に向けた機器のリリースなどを推進
- 自治体の派出窓口業務を自動化する「税金受付システム」を提供

総合管理・防災事業



売上高

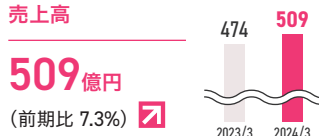


- 建設工事部門の完工高が堅調に推移
- ファシリティマネジメント業務の拡大に取り組む
- サステナビリティへの取組強化の一環として、EV充電設備の販売、設置工事や保守メンテナンスなどを提供

介護事業



売上高



- 新規の施設開設、既存施設の入居率向上、M&Aの効果
- 介護支援ロボット活用など、DXによる介護業務の高度化、効率化を進める
- 「ALSOKの介護」ブランドのもとサービスをさらに拡充

機械警備
業務
35.9
%

常駐警備
業務
24.2
%

警備輸送
業務
13.3
%

15.0
%

9.8%

その他 1.8%

5カ年決算サマリー

詳細な財務情報のご案内
<https://www.alsok.co.jp/ir/finance/>



	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
連結財務ハイライト (百万円)					
売上高	460,118	469,920	489,092	492,226	521,400
売上原価	345,097	352,811	363,511	370,998	395,686
売上総利益	115,020	117,108	125,581	121,228	125,713
販売費および一般管理費	78,224	79,926	82,715	84,234	86,630
営業利益	36,795	37,182	42,865	36,993	39,082
経常利益	38,880	39,212	44,796	39,230	42,173
親会社株主に帰属する当期純利益	24,163	25,014	28,964	23,950	27,327
総資産	428,796	481,465	488,278	516,647	567,561
純資産	270,432	304,427	327,509	343,893	386,581
設備投資	14,066	13,641	16,280	16,448	15,898
減価償却費	14,905	15,828	16,861	17,992	18,727
研究開発費	594	575	565	603	538
収益性					
売上高総利益率 (%)	25.0	24.9	25.7	24.6	24.1
売上高営業利益率 (%)	8.0	7.9	8.8	7.5	7.5
売上高経常利益率 (%)	8.5	8.3	9.2	8.0	8.1
総資産経常利益率 (ROA) (%)	9.3	8.6	9.2	7.8	7.8
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	10.1	9.6	10.0	7.8	8.2
EV/EBITDA (倍) ^{※1}	9.7	9.4	5.8	5.7	6.0
その他情報					
従業員数 (連結) (人)	37,902	38,444	38,192	39,039	64,982
平均勤続年数 (単体) (年)	17.2	17.4	17.6	17.8	18.3
育児休職からの復職率 (男女) (単体) (%)	98.2	98.1	95.2	98.7	100.0
CO ₂ 排出量(グループ売上高原単位) (t-CO ₂) ^{※2}	0.177	0.181	0.174	0.176	0.162
CO ₂ 排出量(グループ) (t-CO ₂) ^{※2}	81,286	85,501	85,146	86,850	84,974

※1 EV/EBITDA倍率の算出式は下記のとおりです。
EV = 時価総額 + 有利子負債 - 手元流動性 (現金および預金 + 有価証券)
EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

※2 2021年3月期よりCO₂排出量の集計方法、集計範囲を変更しました。

令和6年能登半島地震へのALSOKグループの対応について

このたびの令和6年能登半島地震により犠牲になられた方々に対しまして、心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

ALSOKグループは、地震発生直後より、ALSOK本社にて災害対策本部会議を開き、被災地域で事業を展開するグループ会社の北陸総合警備保障(株)等とともに対応に当たりました。

2024年1月4日から、ALSOK警送愛知支社および警送東京支社より、支援物資を積んだ車両を北陸総合警備保障(株)へ派遣するとともに、ALSOKグループの強みを活かし、全国から避難所における警備や被災地にあるATMからの現金回収などの業務をサポートする応援部隊を派遣いたしました。また、社員有志のボランティアが、被災地域で41日間の支援活動を行いました。

ALSOKグループは、今後も社会の安全・安心を守る企業として、被災地の復旧、復興のための支援を継続してまいります。



被災地の巡回警備

ALSOK社員によるボランティア活動

被災地および被災者支援の一環として、社員有志によるボランティア活動を行いました。

ボランティア活動概要

- (1) 活動場所：石川県、富山県、新潟県内の支援ニーズの高い地域
- (2) 活動人員：ALSOK社員有志（適宜交代）
- (3) 活動期間：社員を交代しながら、41日間

主な活動内容

災害ボランティアセンターに協力し、災害ゴミの後片付け、運搬など実施しました。



被災地支援としての義援金

被災地の復旧にお役立ていただくため、ALSOKグループは災害に遭われた地方自治体に対して、グループ各社、役員および社員からの義援金を募り、「公益財団法人 ALSOKありがとう運動財団」を通じて義援金を寄付いたしました。

ALSOK TOPICS



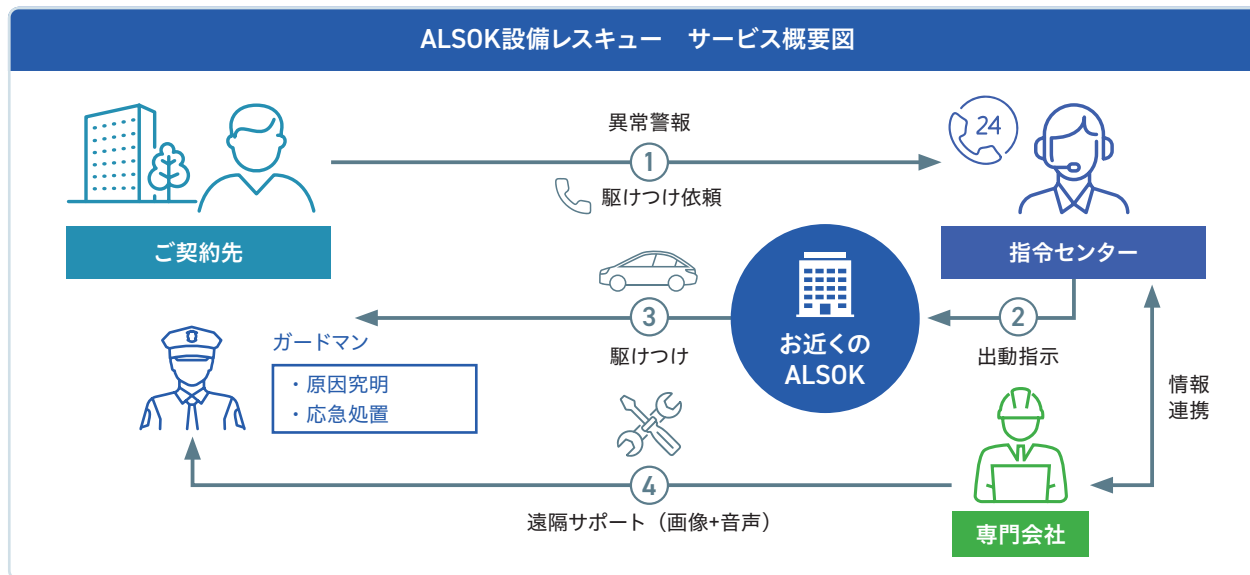
施設管理の省力化、保守体制の充実化を実現 「ALSOK設備レスキュー」の提供開始

マンションやビル等の対象となる設備機器からの異常を受信した際や設備の障害における確認依頼があった際に、ガードマンが現地を確認し原因究明と応急処置を実施する「ALSOK設備レスキュー」を、2月29日より提供開始いたしました。

施設管理ご担当者様に代わってガードマンが現地に駆けつけ、専門家の支援を受けて応急処置を実施するため、設備対応要員の負担軽減につながり、施設管理の省力化、保守体制の充実化を実現することができます。

ALSOK設備レスキューサービス WEBサイト

<https://www.alsok.co.jp/corporate/facility-rescue/>



ALSOK ITレスキュー

「パソコンが起動しない」「インターネットに繋がらない」「ウイルスに感染してしまった」などのパソコンをはじめとするIT機器関連の障害が発生した際に、電話1本でガードマンが24時間365日迅速に駆けつけて、原因究明や応急処置を行います。

提供開始：2023年3月24日

<https://www.digitalsales.alsok.co.jp/it-rescue>





ITのトラブルもALSOKにお任せ! ネットワーク対応のサービスが続々登場

ALSOKではさまざまなネットワーク対応のサービスを提供しています。

■ ALSOK EDRサービス

お客様の大切なPCを24時間365日安全安心に利用できるようサポートし、マルウェア攻撃を瞬時に検知して無害化するだけでなく、マルウェアに感染した場合においてもデータ（ファイル・設定）を自動復旧させます。

提供開始：2024年1月31日

<https://www.digitalsales.alsok.co.jp/edr>



■ ALSOK ホームページ改ざん検知・復旧サービス

お客様の大切なホームページを24時間365日監視し、改ざんが発生しても瞬時に検知、復旧します。

提供開始：2023年10月31日

<https://www.digitalsales.alsok.co.jp/hp-security>



■ ALSOK UTM運用サービス

中小企業のサイバーセキュリティ対策にUTMがおすすめです。UTMとはウイルス対策やファイアウォール等のセキュリティ機能を統合し1台にまとめたもの。ALSOK UTM運用サービスでは、インターネットとの境界に監視装置（UTM）を設置し、外部からの攻撃や内部からの情報流出をチェック。24時間365日、ALSOKが監視します。

<https://www.digitalsales.alsok.co.jp/utm>



ALSOKライフサポート株式会社 有料老人ホーム三ツ星ガイド(関西版)で三ツ星を獲得

2023年12月11日に発売された「有料老人ホーム三ツ星ガイド 2023年度版 関西210選（介護の三ツ星コンシェルジュ編集部 著）」にて、ALSOKライフサポート株式会社が運営するローズライフシリーズ3施設が全て選出されました。「ローズライフ高の原」が最高級の三ツ星、「ローズライフくずは」および「ローズライフ京都」が二ツ星を受賞しています。今後も毎年受賞できるよう、「安全・安心」そして「快適」はもちろん、まずはなによりも「自由」であることを大切にして参ります。



「有料老人ホーム三ツ星ガイド（関西版）」（幻冬舎）は、一般社団法人日本シニア住宅相談員協会と介護の三ツ星コンシェルジュ編集部とが協同で、リハビリ対応、看取り体制、認知症対応力など独自の20項目を基準に2,572施設を徹底調査し、210ホームを紹介。ローズライフ高の原が三ツ星に輝いた。

ESG TOPICS

「マルチステークホルダー方針」を公表

ALSOKは、お客様、従業員、株主・投資家、取引先、地域・グローバル会社などのマルチステークホルダーとの適切な協働を通じ、社会に「安全・安心」を提供することが企業経営において重要と考え、「マルチステークホルダー方針」を策定しました。

企業経営で生み出された収益・成果について、従業員への還元や取引先への配慮が、企業および社会経済全体の持続的成長において重要であることを踏まえ、マルチステークホルダーへの適切な分配を進めてまいります。

➔ ALSOK「マルチステークホルダー方針」 <https://www.alsok.co.jp/company/society/pdf/csr/alsokmultistakeholderpolicy.pdf>



ESG・SRIインデックスへの組み入れ状況

各種取り組みにより、当社はESG、SRIインデックスで下記銘柄に選出されております。



FTSE4Good

社会的責任投資指標
「FTSE4Good Index Series」
の構成銘柄

16年連続



FTSE Blossom
Japan

ESG投資指数
「FTSE Blossom Japan Index」
の構成銘柄

7年連続



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

ESG投資指数
「FTSE Blossom Japan
Sector Relative Index」
の構成銘柄

2年連続

「Morningstar Japan ex-REIT
Gender Diversity Tilt Index」
の構成銘柄

初選出



Somo Sustainability Index

「SOMPOサステナビリティ・
インデックス」
の構成銘柄

10年連続

ALSOK SPORTS NEWS

ALSOKが支援するスポーツのニュースをお届けします。

ライフル
射撃

岡田直也選手が 3大会連続の五輪代表

2024年5月25日、ライフル射撃で男子エアライフルの岡田直也選手がパリ五輪代表に決まりました。リオデジャネイロ、東京に続き3大会連続となります。



ウェイト
リフティング

鈴木梨羅選手が 初の五輪代表に

鈴木梨羅選手が2024年4月のワールドカップの結果を受け、初の五輪出場権を獲得。1～2月のアジア選手権大会ではトータル2位に輝きました。



レスリング

ルーキー・ 曾我部京太郎選手が 初の五輪代表に内定

日本体育大学から入社1年目、全日本選手権連覇中の曾我部京太郎選手が2024年4月21日、五輪アジア予選グレコローマンスタイル67kg級で上位2位に入り、初の五輪代表に内定しました。



新戦力が
入社!



柔道部
こじま こうせい
小嶋 洸成

入社	2024年4月1日
出身校	日本体育大学
出身地	神奈川県
階級	100kg超級
主な成績	

2019年 国民体育大会(優勝)
2023年 アジアオープン・台北(優勝)

ALSOKの社会貢献 将棋文化の振興

将棋

第73期ALSOK杯王将戦 藤井聡太王将がタイトル戦で 前人未到の20連覇

2024年1月7日から始まった「第73期ALSOK杯王将戦」。藤井聡太王将が、挑戦者の菅井竜也八段に4連勝を果たし、見事にタイトルを防衛。大山康晴十五世名人の記録(タイトル戦19連覇)を更新して、タイトル戦で20連覇という前人未到の新記録を樹立しました。

局数	第1局	第2局	第3局	第4局	第5局	第6局	第7局	
藤井聡太王将	○	○	○	○	-	-	-	防衛
菅井竜也八段	●	●	●	●	-	-	-	
対局日	1/7(日)、 8(月・祝)	1/20(土)、 21(日)	1/27(土)、 28(日)	2/7(水)、 8(木)	2/17(土)、 18(日)	3/9(土)、 10(日)	3/30(土)、 31(日)	
対局地	栃木	佐賀	島根	東京	大阪	静岡	東京	

第73期ALSOK杯王将戦

全棋士で行う棋戦。一次予選・二次予選をトーナメントで行い、その勝ち上がり者とシード棋士4人でリーグ戦を行います。

王将とリーグ優勝者が、例年1月から3月にかけて七番勝負を行います。

持ち時間は、一次予選・二次予選が3時間、挑戦者決定リーグが4時間、王将戦七番勝負が2日制(封じ手採用)の8時間です。

▶「王将戦」とは

「王将戦」は、1950年に創設され、翌51年からタイトル戦となりました。現在8大タイトル戦の中で名人戦に次ぐ歴史を持つ伝統と格式のある棋戦です。

規定の回数以上を獲得した場合に与えられるタイトルの永世称号(永世王将)ですが、王将戦は「通算10期獲得」とハードルが高く、これまで大山康晴・羽生善治の2名のみとなっています。

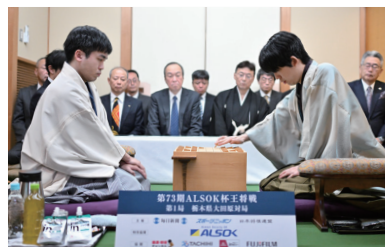
▶ バランスの取れた「攻め」と「守り」が重要

あらゆる世代の方に親しまれている将棋は、バランスの取れた「攻め」と「守り」が重要ですが、当社が主業務にしている「警備」の世界も万全な「守り」だけでなく、近年では、人による警備からAIや5G等の先端技術を活用した「攻め」のセキュリティに進化を遂げています。

また、将棋の世界の対局相手に示す敬意や負けた側が自ら宣言する高潔さに、当社創業以来の精神である「ありがとうの心」と「武士の精神」との親和性を感じ、特別協賛に至りました。2021年4月からは、本棋戦に当社の冠が付き「ALSOK杯王将戦」となりました。



提供：日本将棋連盟



提供：スポーツニッポン新聞社

大切な家族を守るために

安全・安心に最善を尽くすALSOKでは、お客様のさまざまなお気持ちに寄り添っています。

スマホ防犯は、ALSOK

HOME ALSOK Connect



※前面はモニターオフです

設置方法は、壁面埋込／壁面設置／据置の3種類からお選びいただけます。
(W162×H120×D53mm)

ホームセキュリティって、
もっと便利になりませんか？



スマホゲートが登場しました！

スマホで簡単に操作できる手軽で便利なホームセキュリティ「HOME ALSOK Connect」用のコントローラー「スマホゲート」が登場しました。

スマホを認証し警備操作が可能。帰宅時は自動で警備解除、外出時はワンタッチで警備を開始できるので、お出かけがスムーズになります。

特徴

スマホ防犯をよりシームレスに、ホームセキュリティをもっと快適に



※本資料はお客様のご負担となります。専用アプリのインストールが必要になります。
※スマートフォンと専用端末とのBluetooth接続が必要になります。

スマホに反応して自動で警備を解除

スマホゲートはお客様のスマートフォンを利用した警備の開始／解除操作が可能。登録されたスマートフォンを所持しているだけで、帰宅時は自動で警備を解除できます。警備操作の手間がなくなります。

ワンタッチで警備を開始

外出時には、登録されたスマートフォンを所持し、スマホゲートの警備モードボタンを選択するだけで簡単に警備を開始できるため、お出かけがスムーズに。

スマホ忘れを防止

外出時および帰宅時のスマホ所持の有無を音や音声メッセージでお知らせします。

警備ユニットはこちら

コンパクト設計でお家によくなじみます。各種無線センサーが感知した警報を受信し、各所へ通信。ご要望に応じて設置場所をお選びいただけます。



HOME ALSOK Connect

家を守ろう。スマホで守ろう。

<https://www.alsok.co.jp/person/connect/>

詳細は



会社概要

(2024年3月31日現在)

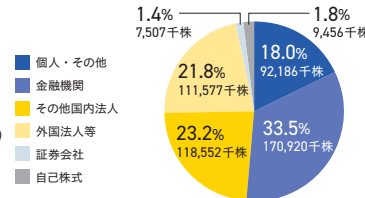
社名 総合警備保障株式会社
(SOHGO SECURITY SERVICES CO.,LTD.)
本社 〒107-8511 東京都港区元赤坂1-6-6
設立 1965年7月16日
資本金 18,675百万円
事業所 本社・64支社・37支店・258営業所

取締役および監査役 (2024年6月25日現在)

代表取締役 グループCEO	村井 豪	取締役(社外)	池永 肇恵
代表取締役 グループCOO	栢木 伊久二	取締役(社外)	三島 正彦
取締役	鈴木 基久	取締役(社外)	岩崎 賢二
取締役	熊谷 敬	取締役(社外)	森田 宏之
取締役	重見 一秀	常勤監査役	田中 里沙
取締役	百武 尚樹	常勤監査役(社外)	望月 壽一郎
取締役	小松 裕	監査役(社外)	中野 慎一郎
		監査役(社外)	中川 能亨
			大塚 祥史

(2024年3月31日現在)

発行可能株式総数
1,500,000,000株
発行済株式総数
510,200,210株
(自己株式 9,456,100株を含む。)
株主総数
15,740名



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	55,630	11.10
総合商事(株)	36,943	7.37
(株)日本カストディ銀行(信託口)	36,098	7.20
埼玉機器(株)	26,419	5.27
ぎずな商事(株)	26,150	5.22
総合警備保障従業員持株会	17,332	3.46
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者(株)日本カストディ銀行	14,807	2.95
村井 温	14,425	2.88
(株)SMBC信託銀行((株)三井住友銀行退職給付信託口)	13,678	2.73
全国共済農業協同組合連合会	12,660	2.52

※持株比率は自己株式(9,456,100株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

お問い合わせ先

株式事務に関するお問い合わせ
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル)
総合警備保障株式会社 総務部総務課
TEL:03-5410-4428
E-mail:soumu@alsok.co.jp

事業内容に関するお問い合わせ
総合警備保障株式会社 IR室
TEL:03-3423-2331
FAX:03-3470-1565
E-mail:alsok-ir@alsok.co.jp



ALSO Kホームページ <https://www.alsok.co.jp/>



ALSOK



@ALSOKnow



ALSOKofficial



環境に優しい植物性大豆インキを使用しております。



P-A10007